

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	肺腫瘍に対する定位放射線治療後の肺臓炎と低線量照射野の空間的相関解析
研究責任者	腫瘍放射線科 祢里真也
研究実施体制	当院腫瘍放射線科、放射線部が中心となり研究を実施する。 専門的な画像解析は、個人情報を除いた上で行う。
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日
対象者	2020 年から 2027 年までに当院で肺腫瘍に対して定位放射線治療を行った患者さん。
研究の意義・目的	肺腫瘍に対する定位放射線治療 (SBRT) 後に発生する放射線肺臓炎の領域が、10～15Gy の低線量域 (V10-15Gy) と空間的に相関するかを検討することを目的とします。従来の有意指標である V20 では説明できない SBRT 特有の肺臓炎発症機序を明らかにすることで、より精緻なリスク評価や治療計画最適化への貢献が期待されます。
研究の方法	【研究のデザイン】後向き観察研究 【方法】対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 年齢、性別、原発巣、TNM 病期分類、照射方法、画像所見、CTCAE v5.0 有害事象 【評価・解析方法】SBRT を受けた肺腫瘍患者を対象に、治療後の肺 CT で放射線肺臓炎を認めた症例を抽出し、同スライスの線量分布図 (V10～V15Gy) と重ねて空間的相関を評価します。Velocity を用いて線量分布と肺臓炎画像を deformable image registration (DIR) で整合させ、V10～V15Gy 領域との重なりを評価する。さらに画像 AI 解析により定性的・定量的な相関を補完し、dosimetrics, radiomics 特徴量との関連も統計的に検討します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腫瘍放射線科 祢里真也 TEL: 053-474-2222 (代表) 腫瘍放射線科外来 9:00～17:00 平日